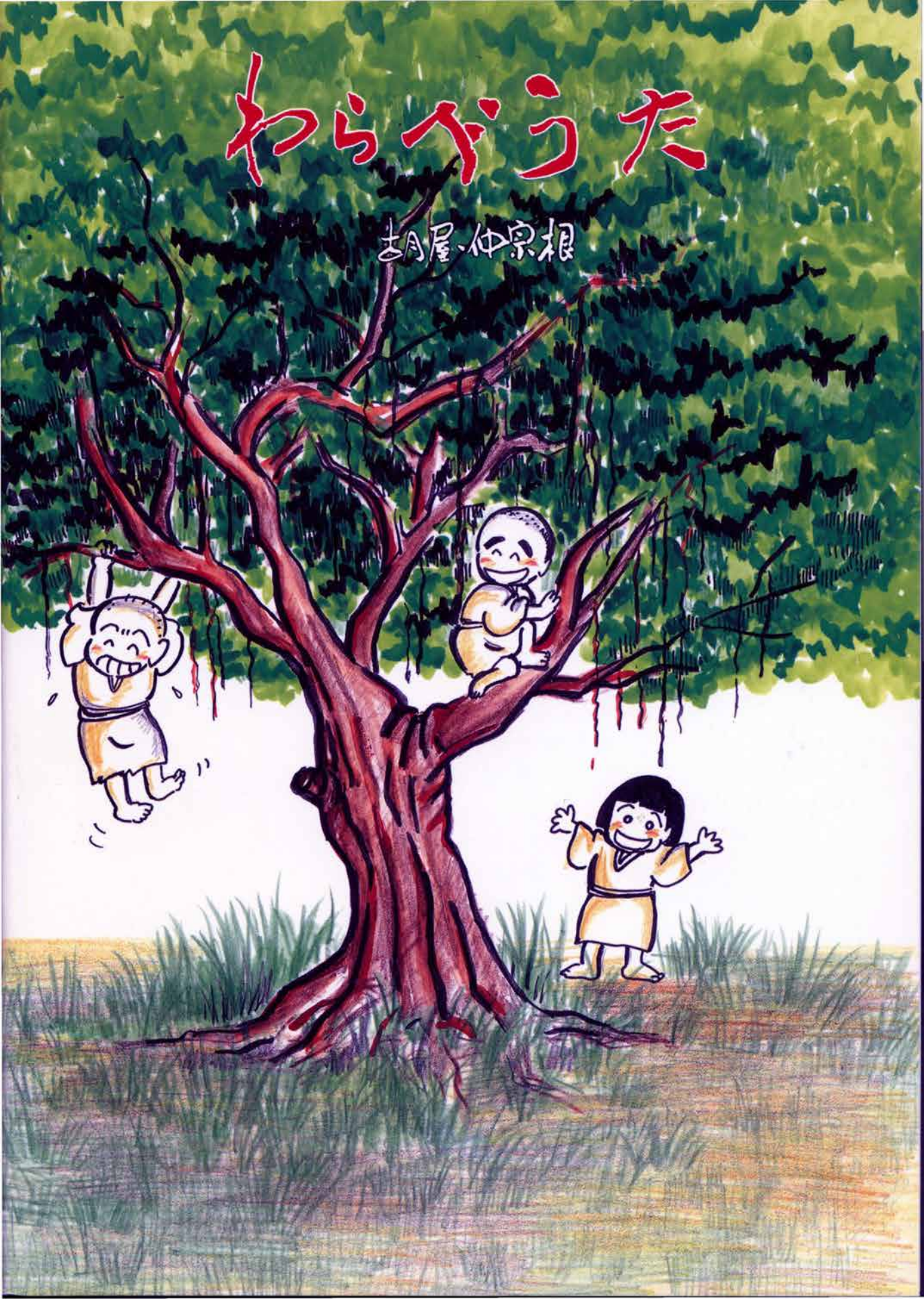


わらべうた

胡屋・仲宗根



あいさつ

そんなに昔のことでもないのに、現代の子供らは、暖かい背中で歌われる歌があることや、日常の遊びの中や行事の中で歌われていた歌があったことを知りません。

生活環境の変化により、歌を歌ってくれるおばあさんはいなくなり、子供同志のあそびも消え、今やパソコンのとりこになってしまった子供たち。

物質的な豊かさに引き替え失ったものの大きさを感ぜないわけにはゆきません。

こうした状況の中、沖縄市教育委員会におきましては1988年からわらべ歌調査を実施し収録保存を行っています。本書は字胡屋・仲宗根の成果を収録したものです。

この書が、あらゆる場所で利用され、郷土を知る手がかりとなり、やがて次代を担う人々を育てる力となっていくならば幸いです。

最後に調査に快く参加して下さった歌唱者のみなさん、調査・編集にあられた比嘉悦子先生に厚くお礼を申し上げます。

沖縄市教育委員会
教育長 當眞哲雄

調査及び編集

- ・調査 比嘉悦子・宮城昭美・波平裕子
- ・採譜 比嘉悦子
- ・資料整理 宮城昭美・新屋良博・仲本千秋
- ・題字 吉浜靖起
- ・イラスト 長浜益美
- ・編集 比嘉悦子・宮城利旭・宮城昭美

はじめに

「胡屋・仲宗根のわらべうた」について

- (1) 「胡屋・仲宗根のわらべうた」は沖縄市字胡屋・仲宗根で採集されたわらべ歌の中から代表的な歌を30曲選んで掲載しました。
- (2) 歌の選定においては、旋律のより確実な歌、そして多くの人々、特に次代を担う子供たちに歌い継いで欲しい歌を優先して選択してあります。

調査について

- (1) 沖縄市の民謡調査は1988年、沖縄市教育委員会文化課の時より開始され、1995年3月現在も継続中です。
- (2) 胡屋・仲宗根のわらべうた調査は1994年2月から1995年2月にかけて計4回行われました。採集された歌は全部で84歌です。この場合、旋律の無い唱えや、歌詞のみの歌も含まれています。
- (3) 胡屋・仲宗根で採集されたわらべうたは、沖縄市全体で歌われていた歌と共通するものが多いのですが、他の地域に比べて動物の歌、からかい歌がより多く採集されました。

特に「海ぬとぅいぐわー」「うずらの歌」「かえるの歌」はこの地域独特の特色を見せています。また、ことば遊びの歌として採集された「てーはくぐわー」は、これまでのどの地域でも聞かれたことがなく、今回始めて採集された歌です。

目



《子守歌》

- ① 耳切り坊主の歌 1
- ② くまから くっぺー 3
- ③ いったーあんまーまーかいがー 4



《あやし歌》

- ④ いーゆぬみー たーくぬみー 5
- ⑤ イッシinger 5
- ⑥ 赤田首里殿内 6



《まりつき歌》

- ⑦ ていーちえー手登根 7
- ⑧ ていーたーみーゆー 8



《遊び歌》

- ⑨ イッポー カッポー 9
- ⑩ いっちく たっちく 10
- ⑪ いっとうがよー 11



《ことば遊びの歌》

- ⑫ がじゃんびらから 12
- ⑬ おならの歌 13
- ⑭ まちやくわーぬ たんめーさい 13

次



《動物の歌》

- ⑮ うずらの歌14
- ⑯ 海ぬとぅいぐわー14
- ⑰ いさとぅー15
- ⑱ ほたるの歌15
- ⑲ 牛もーもー16
- ⑳ かえるの歌16
- ㉑ とーやーまー17
- ㉒ ありの歌17
- ㉓ ありとみみずの綱引き歌18
- ㉔ 牛・馬・山羊の歌18



《からかい歌》

- ⑳ あまからちゅーる 美らじゅりぐわー19
- ㉑ さんだーまーらー19
- ㉒ ちゃんぐわーたんめー20
- ㉓ 堂ぐわー屋敷ぬたんめー21
- ㉔ 昔ぬいっちょーふりむんやー22



《教訓歌》

- ㉑ 親ぬいーしちかんわらべー23

凡 例24

胡屋・仲宗根わらべ歌調査月日別成果表25

① 耳切り坊主の歌

♩ = 92



うふむらうどんぬ かどなかいー みみちりほじが



たっーちあと いくたいいくたい たっ ちがやー



みーちやいゆ たい たっーちあと いらなんしーぐん



むっ ちあとー なーちゆぬわらべー みみグスグス



へいよーへいよー なかんどー へいよ へいよー



なーかんど んみーが んみーが むいしかさー



じーやくかちやく しみゆんど じた(わ)んさば(わ)ん



くますんどー なんじゃんくがにんさしみらや



とーんやまとん あっかさやー へいよーへいよー



なーかんど

うむらうどうん かどう 大村御殿ぬ角なかい みみち ぼうじ た 耳切り坊主が立っちょんどー

いくたいいくたい た 幾人幾人立っちょがやー ろーちやいゆったいた 三人四人立っちょんどー

いらな しーぐ む 鎌ん小刀ん持っちょんどー なー 泣ちゆぬわらべー むみ 耳グスグス

へいーよー へいよー 泣かんどー

へいーよー へいよー 泣かんどー

んみーが んみーが 守いしかさー

じょーやく かちゃやく しみゆんどー

じたぐわん きぼぐわん 履ますんどー なんじゃ くがに 銀ん黄金んさしみらやー

とー やまとん 唐ん大和ん あっかさやー へいーよー へいよー 泣かんどー



② くまから くっぺー

♩ = 112

くまからくっぺー わーみちぐわ あまからあっぺー

いゃ みちぐわー ヘイヨーヘイヨー なーかんど

くまからくっぺー ^{わーみち}我道ぐわー
 あまから あっぺー ^{みち}いゃー道ぐわー
 ヘイヨー ヘイヨー ^な泣かんどー

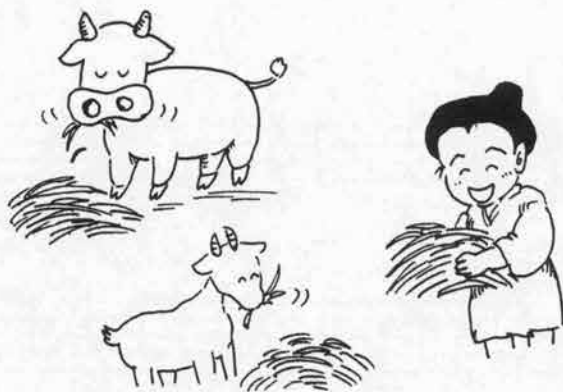


③ いったーあんまーまーかいがー

♩ = 84



いったあんままかいがー べーべーぬ
 いたすやまかいがー もーもーぬ
 くさーかいがー べーべーぬー まさぐさや
 くさーかいがー もーもーぬー まさぐさや
 はーるぬ わかみんーな あんぐわーそーてい
 はーるぬ わかみんーな あんぐわーそーてい
 コッコイ



いったーあんまーまーかいがー べーべーぬ^{草刈}いがー
 べーべーぬ まさ^草や はーるーぬ 若^若みんーな あんぐわーそーてい コッコイ
 いったーすーやーまーかいがー もーもーぬ^{草刈}いがー
 もーもーぬまさ^草や はーるーぬ 若^若みんーな あんぐわーそーてい コッコイ

④ いーゆぬみー たーくぬみー

♩ = 100

い ゆぬ み た くぬみ うまから うままでい クチュクチュクチュ

いーゆぬみー たーくぬみー

うまから うままでい

クチュ クチュ クチュ



⑤ イッシーグー

♩ = 120

イ ッ シ ン グ は な た た ちゃ やん ぼ ら が
い っ ち ょ ん ど あ か し ん た む ぬ ん け ん そ ー ら に

イッシーグー はなたちちやー

やんぼらー いっ
山原船が入ちよんどー

あかしん薪ぬん 買んそーらに



⑥ 赤田首里殿内

♩ = 144

あかたすん - どうんち - くがに - どの
 さぎてい うりがあか - がりば
 みるくゆが - ふ ヒヤープ -
 ヒヤープ ミミンメ - ミミンメ
 ヒジント ヒジント



あかたすんどうんち くがにどうんち
 赤田首里殿内 黄金燈灯下げてい

うりが あか - がりば みるくゆがふ 弥勒世果報

ヒヤープー ヒヤープー

ミーミンメー ミーミンメー

ヒージントー ヒージントー



⑦ てい—ちえ—手登根

♩ = 96

てい—ちえ—ちえ—ていでい—くん た—ちえ—たなばる み—ちえ—みどししま
 ゆ—ちえ—ゆんしじ いちえ—いちかじ む—ちえ—むるしま
 ななちえ—ながはま や—ちえ—やんばる くくぬち—くんじゃん
 くんじゃん ぶにから なふあたびさびたる なふあぬがじゃの
 ちゆえ—じゆ—さぬ とうな やどうちん さつ たる わい

てい—ちえ—手登根 二ちえ—棚原 三ちえ—みどうしま

ゆ—ちえ—ゆんしじ 五ちえ—糸数 六ちえ—盛島

なな 七ちえ—長浜 八ちえ—山原 九ぬち—国頭

くんじゃんぶにから 那覇たびさびたる 那覇ぬが蚊じゃの—

ちゆえ—じゆ—さぬ とうな—宿賃さつたるわい



⑧ てい—た—み—ゆ—



てい	た	—	み	ゆ	—	い	ち	む	な	な	や	—	く	く	ぬ	ど	
い	た	—	み	ゆ	—	い	ち	む	な	な	や	—	く	く	ぬ	に	じ
い	た	—	み	ゆ	—	い	ち	む	な	な	や	—	く	く	ぬ	き	ゅう
い	た	—	み	ゆ	—	い	ち	む	な	な	や	—	く	く	ぬ	ひ	ゃ

てい	た	み	ゆ	い	ち	む	な	な	や	く	く	ぬ	ど	う
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十					
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	に	じ	う		
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	さん	じ	う		
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	よん	じ	う		
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	ご	じ	う		
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	ろく	じ	う		
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	な	な	じ	う	
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	はち	じ	う		
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	きゅう	じ	う		
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	ひゃ	く			



⑨ イッポー カッポー

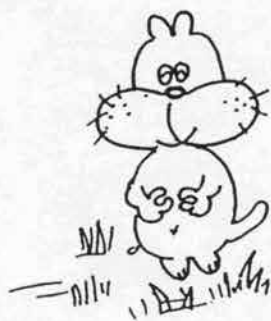
♩ = 88

いッポカッポ んむぬ はや んぶち
 だきぬ はや だかち すとちばぬ
 な かぐ うむい みそー り

イッポー カッポー 箆^はぬ葉^はやーんーぶーちー

だ^だき^きは^はー だ^だか^かーち^ちー す^すーと^とち^ちば^ばぬ^ぬ な^なーか^かーぐ^ぐー

う^うむ^むい^いみ^みーそ^そーり^りー



⑩ いっちく たっちく

♩ = 80

い っ ち く た っ ち く じ ゅ に が ち が ち く む く ち ん ぼ ら が

ふ る ぬ く し ん で い す り が へ い

い っ ち く た っ ち く じ ゅ - に が ち - が -

ち く む く ち ん ぼ - ら - が -

ふ - る ぬ ^し 後 ん で い す - り が へ い



⑪ いっとうがよー

♩ = 152

いっとうがよー にとうがよー さんとうがよー
 しーとうがよー ごとうがよー むーとうがよー
 ななとうがよー はちとうがよー くーとうがよー
 じゅうとうがよー

いっとうがよー 二ーとうがよー さんとうがよー しーとうがよー ごーとうがよー
 むーとうがよー ななとうがよー はちとうがよー くーとうがよー じゅうとうがよー



⑫ がじゃんびらから

♩ = 112

がじゃんびらから うりたいぬぶたい わたぬやりど
 ちぶるぬやりど いさいさかかていん のーちんとうらさん
 めぬかまどうんばが のちとうらちゃん うりがうんじえ
 ぬし うくゆが くみぬいすにす さきぬいちごにんご

がじゃんびらから 降りたい登たい

わたぬやりどー ちぶるぬやりどー

いまいまかかていん のーちんとうらさん

めぬかまどうんばが のちとうらちゃん

うりがうんじえー ぬーし うくゆが

くみぬいすにす さきぬいちごにんご



⑬ おならの歌

♩ = 126

ひ っ ち ゃ る ひ や ー た が ひ っ ち ゃ が て ら ぬ み わ
う わ ひ っ ち ゃ る ひ

ひっちやる屁や 誰がひっちやが

てーらぬ みーわー うーわー ひっちやる屁

⑭ まちやぐわーぬ たんめーさい

♩ = 126

ま ち や く わ ぬ た ん め さい さ き く わ い ち ご
う み そ れ てーは く く わ ー ん ご せ ん が む ん

店ぐわーぬー たんめーさい 酒ぐわー合

うみそーれー 白砂糖ぐわーん 五銭がむん

⑮ うずらの歌

♩ = 144

とど クイ クイ とど クイ クイ くわ くわ てい ちえ

いら ちよ け な さ わ とら す さ

Detailed description: The musical score is written on two staves in treble clef with a key signature of one flat (B-flat) and a 4/4 time signature. The tempo is marked as ♩ = 144. The melody consists of eighth and quarter notes. The lyrics are written below the notes.

とどークィークィー とどークィークィー

子ぐわーていーちえー いらーちよーけー

産さわ とららすさ

⑯ 海ぬとらいぐわー

♩ = 144

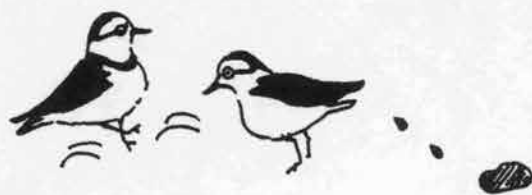
う み ぬ とらいぐわ く そ ま て い か ら ち べ ぬ ぐ ら ん

イ ム ッ ク イ ム ッ ク イ ム ッ ク イ

Detailed description: The musical score is written on two staves in treble clef with a key signature of one flat (B-flat) and a 4/4 time signature. The tempo is marked as ♩ = 144. The melody consists of eighth and quarter notes. The lyrics are written below the notes. The second staff contains a series of asterisks representing a rhythmic pattern.

海ぬとらいぐわー 糞まていから 尻ぬぐらん

イー ムックイ ムックイ ムックイ



①⑦ いさとうー

♩ = 120

い さ とう い さ とう ぬ く わ た が ま み ぬ は とう
 く わ た る だ ん じ ゅ か だ ん じ ゅ か く す ひ っ ち ゃ ら

いさとうー いさとうー 何喰たがー 豆ぬ葉どらー喰たーるー
 だんじゅか だんじゅか 糞ひっちら

①⑧ ほたるの歌

♩ = 126

じ な じ な さ た や ぬ く し ん じ
 み じ ぬ で い う て い て く よ じん じん

じーなー じーなー 砂糖屋ぬ 後んじ 水飲でい
 落ちていくーよー じん じん



①9 牛もーもー

♩ = 126

う し も も た かい ど た ぬ み じ え
 く ん て ち あ さ ば ん ゆ ば ん に じ ら し よ

牛もーもー 田かいどー 田ぬみじえ くんてーちー

朝飯夕飯 にじらしよー

②0 かえるの歌

♩ = 152

う た な れ み う っ ち ん た る ぐ わ た ど し ん ぬ
 ガ ク ガ ク

歌習み うっちゃんたるぐわー たどーしぬ

ガークー ガークー



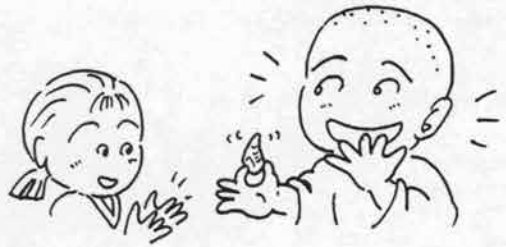
②1 とーやーまー

♩ = 152

と や ま や が や ま と ま や が み ぐ り み ぐ り ば

く ま や う ち な

とーまーやが やまとーまーやが
 唐や何処やが 大和何処やが
 巡ぐり 巡ぐりば 此処や沖繩



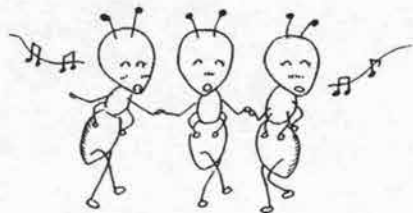
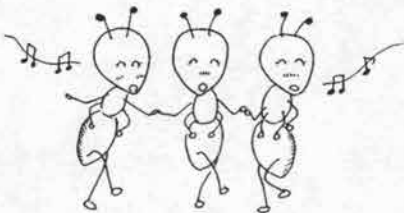
②2 ありの歌

♩ = 126

あい こ あい こ と ば が に く ぬ う ま く る ち え く ど

ど し ゆ で い く よ

あいこー あいこー とー^なば兼久ぬ
 馬^{うま}殺ちえーくとう 友^{とも}達呼^{よび}でいくーよー



②③ ありとみみずの綱引き歌

♩ = 144

いぬもうてい てくうちゅしえ たがやらんち
 んじていんちゃれ あいこぐわとうみみじとう ちなひちボンボン

いぬもーうてい 太鼓打ちゅしえー 誰がやらんち 出じていんちゃれー

あいこーぐわとう みみじとう 綱引き ボン ボン



②④ 牛・馬・山羊の歌

♩ = 112

うしやはなふがち うまやむげ はきてい あわり
 どやひじゃくわ くびゆくーんち サヨサ くびゆ
 くーんち

牛や鼻ふがちー 馬やむげはきていー 衰りどや 山羊ぐわー

首ゆくんちー サヨサー 首ゆくんちー

②⑤ あまからちゅーる 美らじゅりぐわー

♩ = 69

あまからちゅる ちゅら じゅりぐわー しんだんぎから けうていでい
 ゆ じは ひ じは ーする うちね こぐちんまが てい シヤ
 ブ シャーブ ヒジシ ト ヒジント

あまからちゅーる 美らじゅりぐわー 梅檀木から けー落ていていー

養生ひーじょーするうちねー 腰ちん曲ていー

シーヤーブー シーヤーブー ヒージントー ヒージントー

②⑥ さんだーまーらー

♩ = 66

さんだまら きふ じは いっくわんたばこ けふちゃくとう
 なちやぬ ゆろ ぬふつ が くわぎぬは どう ふつる

さんだー 三郎まーらー 木ふーじょー 一貫煙草けー吹ちゃくとう

なちやぬゆろぬふ 翌日ぬ夜何吹つがー 桑木ぬ葉どう吹つーるー



②7 ちゃんぐわーたんめー

♩ = 104

ちゃんぐわ たんめ ちゃーしにん とが や わ た
 や だ い ちゅーくあらんが や けしにがた
 は かーま やが や かんじゃ やぬすば
 ちゃーし うくゆが や ゆったい がたみ

喜屋武ぐわーたんめー ちゃーし寝んとがやー 腹痛でい

強くあらんがやー けー死にがーたー

墓何処やがやー 鍛冶屋ぬ側

ちゃーし うくゆがやー 4人がたみー



②⑧ 堂ぐわ一屋敷ぬたんめ一

♩ = 104



どー(わ)やしちぬ たんめさい あたび(と)いがや
 めんそらに うむにかむく(と)ま(ち)ょ(れ)
 いやにんきゆさ ま(ち)ょ(り)よ またん またん
 ん

どー 堂ぐわ一屋敷ぬたんめ一さい あたび(と) 蛙取いがやめんそらに

うむに一かむく(と) ま(ち)ょ(れ)一

いやにんき一ゆさ ま(ち)ょ(り)よ一

またん 待た一ん 待た一ん一



② 昔ぬいっちょーふりむんやー

♩ = 126

んかしぬいっちょ ふりむんや うまがしかさん
 ゆみしかち

Detailed description: The image shows two staves of musical notation in G major (one flat) and 4/4 time. The tempo is marked as quarter note = 126. The first staff contains the main melody with lyrics underneath. The second staff continues the melody with the lyrics 'ゆみしかち'.

昔^{ゆめ}ぬいっちょーふりむんやー 孫^{うまが}しかさん 嫁^{よめ}しかちー



③〇 親ぬいーしちかんわらべー



親ぬゆしぐとら 聞かんわらべー

糸満嫁しち あんだがーみ こーん こーん








凡 例

I 歌詞と表現について

- (1) 掲載されたわらべ歌は、子守り歌(3)、あやし歌(3)、まりつき歌(2) 遊び歌(3)、ことば遊びの歌(3)、動物の歌(10)、からかい歌(5)、そして教訓歌(1)にわけて分類した。
- (2) 表題は歌い出しの句をとってつけたものが多いが、「耳切り坊主の歌」や、動物を対象にした歌などは、歌われる内容に添って編集者が表題をつけた。
- (3) 歌詞は漢字仮名まじり文で表記し、漢字には歌唱者のなまり音のままルビをふった。漢字が当てられる箇所には漢字を用いたが、無理な当て字は避けた。
- (4) はやしことばや擬音はカタカナで記した。
- (5) 歌詞の表記の中で、のばして歌う箇所は、長短の区別はせずに長音記号「ー」(引音)で示した。

II 楽譜について

- (1) 楽譜は五線譜を基本としたが、沖縄独特な音程や歌唱法を表現するために特殊な記号を追加して用いた。
- (2) 採譜は採録時の歌唱者の歌をできる限り忠実な形で再現できるように配慮したが、調律は一般の人々、特に子供たちの歌いやすい高さに合わせて作譜した。
- (3) 民謡調査においては、歌唱者から歌にまつわる様々な生活状況を聞き取りながら歌を録音していくが、時には歌唱者が突然歌い出したり、歌の途中で中断し次に続く歌詞を思い起こしてまた歌い出すこともしばしばあった。そのような歌は、他の類似曲を検討の上、採譜者によって加筆し、補足した。
- (4) 調号に(b)とある()のつけられたフラットは、実際にはその曲に出てこない音につけられるものであるが、基音を求めるめやすとして表記した。
- (5)  や  のように矢印のついた音は表記音より低めの音程で歌われる。
- (6)  や  の表記は音程の定まらない唱えや掛け声をあらわす。
- (7)  は上から下へ声を落としていく唱法を示す。

胡屋・仲宗根わらべ歌調査月日別成果表

番号	氏名	性	生年月日	出身地	住所	1994年(H6)		1995年(H7)		計	備考
						2/9	3/7	1/9	2/1		
1	島田 静子	女	T 7. 3. 10	山内	胡屋 2-7-7	7	1			8	民話「カシチーが一日早い訳」
2	島 千代	女	T 4. 11. 1	胡屋	胡屋 1-9-16	5	21		2	28	
3	高嶺 ツル	女	T 4. 4. 11	呉富士	胡屋 4-26-23	1			1	2	
4	仲宗根 澄	女	M 40. 5. 14	東恩納	胡屋 2-2-46	17	3			20	民話「南風原外間の話」
5	富里 美津	女	T 2. 6. 30	島袋	胡屋 1-11-18		2			2	
6	仲村 マサ	女	M 43. 4. 4	胡屋	仲宗根 36-4		8	15		23	民話「仲宗根マブルーの話」/戸別訪問
7	玉城 カマ	女	M 45. 2. 5	大工廻	胡屋 2-2-7				1	1	
						30	35	15	4	84	



わらべうたの歌いか
たなど、気軽に相談し
て下さい。

次回のわらべうた集
をお楽しみに。

胡屋・仲宗根のわらべ歌

沖縄市文化財調査報告書第19集

平成7年3月10日印刷

平成7年3月31日発行

発行 沖縄市教育委員会

編集 沖縄市立郷土博物館

〒904 沖縄県沖縄市字上地235-3

TEL (098) 932-6882

印刷 光文堂印刷株式会社

沖縄県南風原町字兼城577番地

TEL (098) 889-1131



